

第1038回教育委員会

平成29年3月15日
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後3時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 報 告

- (1) 第72回国民体育大会冬季大会山形県選手団の結果について <資料配付>
(スポーツ保健課競技スポーツ推進室)
- (2) 平成28年度第2回いじめに関する定期調査(本県独自調査)の結果について
(義務教育課)
- (3) 平成29年度山形県公立高等学校入学者選抜の概要について
(高校教育課)
- (4) 登録有形文化財(建造物)の登録について (文化財・生涯学習課)

5 議 題

- 議第1号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第55条第4項の規定に基づく意見に係る臨時専決処理の承認について
(文化財・生涯学習課)
- 議第2号 教育委員会職員の人事について (総務課)
- 議第3号 教職員の人事について (総務課教職員室)

6 閉 会

第72回国民体育大会冬季大会山形県選手団結果について

1. 大会概要

競技会名	スケート競技会・アイスホッケー競技会	スキー競技会
大会期日	平成29年1月27日(金)～1月31日(火)	平成29年2月14日(火)～17日(金)
会場	長野県長野市・岡谷市・軽井沢町	長野県白馬村
選手団	団長 武田 浩一 以下30名	団長 早坂 孝 以下85名

2. 成績

(1) 冬季総合成績
男女総合成績（天皇杯順位）第 11 位（昨年 3 位）
女子総合成績（皇后杯順位）第 7 位（昨年 6 位）

(2) 競技会別総合成績

年	回	開催地	男女総合成績						女子総合成績					
			スケート競技会		スキー競技会		冬季合計		スケート競技会		スキー競技会		冬季合計	
			順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
29	72	長野	11	93.0	10	34.0	11	127.0	9	51.0	10	18.0	7	69.0
28	71	岩手	4	143.0	10	48.0	3	191.0	8	47.0	6	31.0	6	78.0

3. 入賞一覧および競技獲得得点

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属	得点	
1位	スケート(スピード)	少年女子	1,500m	小竹 琉湖	山形中央高校3年	8	
	スケート(スピード)	少年女子	3,000m	鈴木 杏菜	山形中央高校2年	8	
2位	スケート(スピード)	少年男子	500m	森 重 航	山形中央高校1年	7	
3位	スケート(スピード)	成年男子	2,000mリレー	由井 直樹・一戸 大地 青山 航大・森永 一帆	早稲田大学・信州大学 大東文化大学・山形県体育協会	6	
	スケート(スピード)	少年男子	2,000mリレー	佐竹 柊真・上水 隆生 北澤 佑樹・森重 航	山形中央高校	6	
	スケート(スピード)	少年女子	2,000mリレー	山口 亜実・秋田 怜奈 古川 智洋・鈴木 杏菜	山形中央高校	6	
4位	スケート(スピード)	少年女子	500m	秋田 怜奈	山形中央高校1年	5	
	スケート(スピード)	少年女子	1,000m	古川 智洋	山形中央高校2年	5	
	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	結城 智裕	(株)置環	5	
	スキー	成年女子B	クロスカントリー	青木 富美子	真空川高校教員	5	
5位	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	上水 隆生	山形中央高校3年	4	
	スケート(スピード)	少年女子	3,000m	ウィリアムソン レミ	山形中央高校2年	4	
	スキー	少年男子	クロスカントリー	佐藤 凌	北村山高校2年	4	
6位	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	北澤 佑樹	山形中央高校2年	3	
	スケート(スピード)	少年女子	1,500m	鈴木 杏菜	山形中央高校2年	3	
	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー	石山 柊平・佐藤 凌 坂木 宥也・落合 稜介	北村山高校	3	
7位	スケート(スピード)	少年男子	5,000m	小林 裕幸	山形中央高校3年	2	
	スケート(スピード)	少年女子	500m	山口 亜実	山形中央高校3年	2	
	スキー	少年女子	ジャイアントスラローム	鈴木 千晴	日大山形高校3年	2	
	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	榎 森 啓悟	日大山形高校3年	3	
8位	スケート(スピード)	成年男子	1,000m	森 永 一帆	山形県体育協会	1	
	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	由井 直樹	早稲田大学1年	1	
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	北澤 佑樹	山形中央高校2年	1	
	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	森 重 航	山形中央高校1年	1	
	スキー	成年男子A	スペシャルジャンプ	情野 匡紀	(株)置環	1	
12位	スキー	少年女子	クロスカントリー	本間 夏奈	北村山高校2年	1	
合計						127	
内訳						スケート競技得点合計	73
						スキー 競技得点合計	24
						冬季3競技・参加得点	30

【参考】過去3年の国体冬季大会における男女総合成績(優勝数)

年度(回)	スキー国体	スケート国体	男女総合成績
H26(69)	78(2) 5位	94(4) 12位	172・5位
H27(70)	49(0) 7位	93(3) 12位	142・10位
H28(71)	48(0) 10位	143(3) 4位	191・3位

※繰上げ

競技得点は、同一県2名までに与えられ、上位に同一県が3人いる場合は、下位の県の得点が1点繰り上がる。

平成 28 年度第 2 回いじめに関する定期調査（本県独自調査）の結果について

1 調査期間

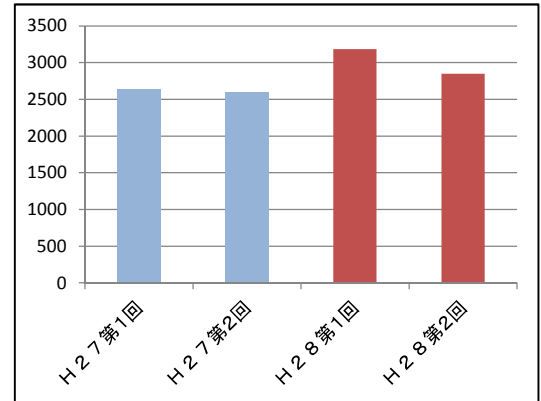
H28年度 第2回：平成28年8月1日～平成28年12月31日

比較参考	H27年度第1回	H27年 4月1日～H27年 7月31日
	H27年度第2回	H27年 8月1日～H27年12月31日
	H28年度第1回	H28年 4月1日～H27年 7月31日

2 平成28年8月1日～12月31日間に認知したいじめの状況

(1) 学校種別いじめの認知件数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
H27 第1回	1,654 件	664 件	288 件	23 件	2,629 件
H27 第2回	1,605 件	672 件	295 件	25 件	2,597 件
H28 第1回	2,019 件	852 件	280 件	34 件	3,185 件
H28 第2回	1,792 件	772 件	232 件	52 件	2,848 件
前年増減	187 件	100 件	-63 件	27 件	251 件



(2) 平成28年12月31日現在におけるいじめの解消状況（全校種合計）

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27 年間認知	5,668 件	98.7 %	63 件	1.1 %	8 件	0.1 %	4 件	0.1 %	5,743 件
H28 第1回認知	2,802 件	88.0 %	331 件	10.4 %	42 件	1.3 %	10 件	0.3 %	3,185 件
H28 第2回認知	1,930 件	67.8 %	804 件	28.2 %	97 件	3.4 %	17 件	0.6 %	2,848 件

(3) いじめの発見のきっかけ（全校種合計）

	H27年度第1回		H27年度第2回		H28年度第1回		H28年度第2回		前年同期増減 件数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
教職員等が発見	164 件	6 %	174 件	7 %	153 件	5 %	185 件	7 %	11 件
アンケート調査等学校の取組により発見	1,637 件	62 %	1,613 件	62 %	1,946 件	61 %	1,787 件	63 %	174 件
本人からの訴え	416 件	16 %	411 件	16 %	551 件	17 %	427 件	15 %	16 件
本人の保護者からの訴え	327 件	12 %	305 件	12 %	450 件	14 %	367 件	13 %	62 件
その他	85 件	3 %	94 件	4 %	85 件	3 %	82 件	3 %	-12 件

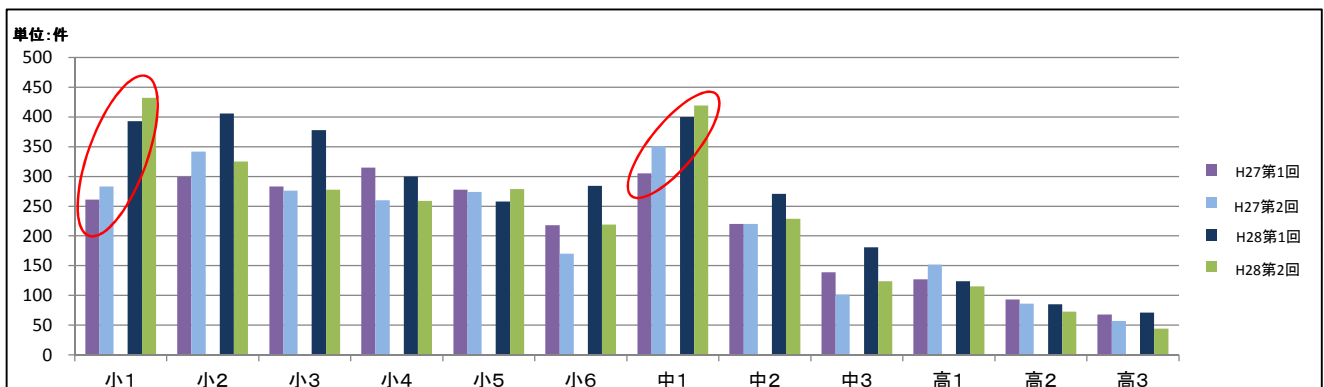
(4)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態 様	H27年度 第1回	H27年度 第2回	H28年度 第1回	H28年度 第2回	前年同期 増減
① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1713 件	1776 件	1996 件	1889 件	113 件
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	416 件	423 件	408 件	392 件	-31 件
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	554 件	666 件	777 件	624 件	-42 件
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	166 件	206 件	215 件	223 件	17 件
⑤ 金品をたかられる。	44 件	41 件	74 件	46 件	5 件
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	153 件	188 件	180 件	214 件	26 件
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	165 件	160 件	257 件	165 件	5 件
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	70 件	62 件	72 件	70 件	8 件
⑨ その他	57 件	88 件	78 件	60 件	-28 件

3 学期毎の学年別認知件数の経年比較(小中高)

単位: 件

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
H27年度 第1回	261	299	283	315	278	218	305	220	139	127	93	68
H27年度 第2回	283	342	276	260	274	170	351	220	101	152	86	57
H28年度 第1回	393	406	378	300	258	284	400	271	181	124	85	71
H28年度 第2回	432	325	278	259	279	219	419	229	124	115	73	44



小学校調査結果

1 学校数

H27年度： (260) H28年度： (253)

2 平成28年8月1日～12月31日間に認知したいじめの状況

(1) いじめの件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
H27第2回	283件	342件	276件	260件	274件	170件	1,605件
H28第1回	393件	406件	378件	300件	258件	284件	2,019件
H28第2回	432件	325件	278件	259件	279件	219件	1,792件
前年増減	149件	-17件	2件	-1件	5件	49件	187件
直近増減	39件	-81件	-100件	-41件	21件	-65件	-227件

(2) 平成28年12月31日現在におけるいじめの解消状況(全校種合計)

① 期間内に認知したいじめ

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27第2回認知	1,119件	69.7%	414件	25.8%	71件	4.4%	1件	0.1%	1,605件
H28第1回認知	1,419件	70.3%	507件	25.1%	93件	4.6%	0件	0.0%	2,019件
H28第2回認知	1,237件	69.0%	487件	27.2%	57件	3.2%	11件	0.6%	1,792件

② 平成28年度第1期(4月1日～7月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H28第1期認知	1,809件	89.6%	172件	8.5%	32件	1.6%	6件	0.3%	2,019件

③ 平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27年間認知	3,592件	99.1%	25件	0.7%	7件	0.2%	1件	0.0%	3,625件

(3) いじめの発見のきっかけ

	H27年度第2回		H28年度第1回		H28年度第2回	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	70件	4.4%	71件	3.5%	70件	3.9%
アンケート調査等学校の取組により発見	1,023件	63.7%	1,222件	60.5%	1,135件	63.3%
本人からの訴え	252件	15.7%	326件	16.1%	251件	14.0%
本人の保護者からの訴え	200件	12.5%	360件	17.8%	283件	15.8%
その他	60件	3.7%	40件	2.0%	53件	3.0%

(4) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態様	H27年度第2回	H28年度第1回	H28年度第2回	前年増減	直近増減
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1,055件	1,196件	1,185件	130件	-11件
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	252件	253件	216件	-36件	-37件
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	480件	581件	447件	-33件	-134件
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	149件	160件	155件	6件	-5件
⑤ 金品をたかられる。	16件	46件	24件	8件	-22件
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	107件	105件	124件	17件	19件
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	119件	210件	117件	-2件	-93件
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	8件	10件	4件	-4件	-6件
⑨ その他	43件	38件	24件	-19件	-14件

中学校調査結果

1 学校数

H27年度： (101) H28年度： (98)

2 平成28年8月1日～12月31日間に認知したいじめの状況

(1) いじめの件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	合計
H27第2回	351件	220件	101件	672件
H28第1回	400件	271件	181件	852件
H28第2回	419件	229件	124件	772件
前年増減	68件	9件	23件	100件
直近増減	19件	-42件	-57件	-80件

(2) 平成28年12月31日現在におけるいじめの解消状況(全校種合計)

① 期間内に認知したいじめ

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27第2回認知	486件	72.3%	177件	26.3%	8件	1.2%	1件	0.1%	672件
H28第1回認知	574件	67.4%	248件	29.1%	30件	3.5%	0件	0.0%	852件
H28第2回認知	524件	67.9%	225件	29.1%	17件	2.2%	6件	0.8%	772件

② 平成28年度第1期(4月1日～7月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H28第1期認知	727件	85.3%	116件	13.6%	5件	0.6%	4件	0.5%	852件

③ 平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27年間認知	1428件	97.4%	34件	2.3%	1件	0.1%	3件	0.2%	1466件

(3) いじめの発見のきっかけ

	H27年度第2回		H28年度第1回		H28年度第2回	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	49件	7.3%	66件	7.7%	58件	7.5%
アンケート調査等学校の取組により発見	378件	56.3%	476件	55.9%	465件	60.2%
本人からの訴え	125件	18.6%	187件	21.9%	150件	19.4%
本人の保護者からの訴え	92件	13.7%	82件	9.6%	77件	10.0%
その他	28件	4.2%	41件	4.8%	22件	2.8%

(4) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態様	H27年度第2回	H28年度第1回	H28年度第2回	前年増減	直近増減
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	502件	588件	520件	18件	-68件
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	109件	94件	135件	26件	41件
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	134件	155件	127件	-7件	-28件
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	45件	36件	56件	11件	20件
⑤ 金品をたかられる。	12件	13件	12件	0件	-1件
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	48件	60件	76件	28件	16件
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	23件	34件	36件	13件	2件
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	19件	33件	37件	18件	4件
⑨ その他	27件	22件	28件	1件	6件

高等学校調査結果

1 学校数

H27年度： (53) H28年度： (53)

2 平成28年8月1日～12月31日間に認知したいじめの状況

(1) いじめの件数及び学年別内訳

	1年生	2年生	3年生	合計
H27第2回	152件	86件	57件	295件
H28第1回	124件	85件	71件	280件
H28第2回	115件	73件	44件	232件
前年増減	-37件	-13件	-13件	-63件
直近増減	-9件	-12件	-27件	-48件

(2) 平成28年12月31日現在におけるいじめの解消状況(全校種合計)

① 期間内に認知したいじめ

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27第2回認知	175件	59.3%	86件	29.2%	34件	11.5%	0件	0.0%	295件
H28第1回認知	186件	66.4%	78件	27.9%	16件	5.7%	0件	0.0%	280件
H28第2回認知	135件	58.2%	80件	34.5%	17件	7.3%	0件	0.0%	232件

② 平成28年度第1期(4月1日～7月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H28第1期認知	254件	90.7%	23件	8.2%	3件	1.1%	0件	0.0%	280件

③ 平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27年間認知	600件	99.0%	4件	0.7%	0件	0.0%	0件	0.0%	604件

※継続支援中のうち2件は卒業

(3) いじめの発見のきっかけ

	H27年度第2回		H28年度第1回		H28年度第2回	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	54件	18.3%	8件	2.9%	46件	19.8%
アンケート調査等学校の取組により発見	195件	66.1%	227件	81.1%	157件	67.7%
本人からの訴え	31件	10.5%	35件	12.5%	22件	9.5%
本人の保護者からの訴え	10件	3.4%	7件	2.5%	6件	2.6%
その他	5件	1.7%	3件	1.1%	1件	0.4%

(4) 期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態様	H27年度第2回	H28年度第1回	H28年度第2回	前年増減	直近増減
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	195件	197件	157件	-38件	-40件
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	59件	57件	38件	-21件	-19件
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	39件	33件	34件	-5件	1件
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	11件	14件	10件	-1件	-4件
⑤ 金品をたかられる。	13件	15件	10件	-3件	-5件
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	32件	13件	13件	-19件	0件
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	15件	12件	8件	-7件	-4件
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	34件	27件	28件	-6件	1件
⑨ その他	17件	11件	6件	-11件	-5件

特別支援学校調査結果

1 学校数

H27年度： (17)

H28年度： (17)

2 平成28年8月1日～12月31日間に認知したいじめの状況

(1)いじめの件数及び学部別内訳

	小学部	中学部	高等部	合計
H27第2回	2件	7件	16件	25件
H28第1回	5件	5件	24件	34件
H28第2回	9件	10件	33件	52件
前年増減	7件	3件	17件	27件
直近増減	4件	5件	9件	18件

(2)平成28年12月31日現在におけるいじめの解消状況(全校種合計)

①期間内に認知したいじめ

	学部	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
H27第2回認知	小学部	1件	50.0%	1件	50.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	2件
	中学部	1件	14.3%	6件	85.7%	0件	0.0%	0件	0.0%	7件
	高等部	3件	18.8%	11件	68.8%	2件	12.5%	0件	0.0%	16件
	小中高総計	5件	20.0%	18件	72.0%	2件	8.0%	0件	0.0%	25件
H28第1回認知	小学部	2件	40.0%	3件	60.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	5件
	中学部	1件	20.0%	4件	80.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	5件
	高等部	9件	37.5%	13件	54.2%	2件	8.3%	0件	0.0%	24件
	小中高総計	12件	35.3%	20件	58.8%	2件	5.9%	0件	0.0%	34件
H28第2回認知	小学部	5件	55.6%	3件	33.3%	1件	11.1%	0件	0.0%	9件
	中学部	5件	50.0%	1件	10.0%	4件	40.0%	0件	0.0%	10件
	高等部	24件	72.7%	8件	24.2%	1件	3.0%	0件	0.0%	33件
	小中高総計	34件	65.4%	12件	23.1%	6件	11.5%	0件	0.0%	52件

②平成28年度第1期(4月1日～7月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	2件	40.0%	3件	60.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	5件
中学部	1件	20.0%	4件	80.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	5件
高等部	9件	37.5%	13件	54.2%	2件	8.3%	0件	0.0%	24件

③平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)に認知したいじめ

※平成28年12月末の状況

	いじめが解消した		一定の解消が図られたが継続支援中		解消に向けて取組中		その他		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
小学部	4件	100.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	4件
中学部	12件	100.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	12件
高等部	32件	100.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	32件

(3)いじめの発見のきっかけ

	H27年度第2回		H28年度第1回		H28年度第2回	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
教職員等が発見	1件	4.0%	8件	23.5%	11件	21.2%
アンケート調査等学校の取組により発見	17件	68.0%	21件	61.8%	30件	57.7%
本人からの訴え	3件	12.0%	3件	8.8%	4件	7.7%
本人の保護者からの訴え	3件	12.0%	1件	2.9%	1件	1.9%
その他	1件	4.0%	1件	2.9%	6件	11.5%

(4)期間中に認知した、いじめの態様(複数回答)

態様	H27年度第2回	H28年度第1回	H28年度第2回	前年増減	直近増減
① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	24件	15件	27件	3件	12件
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	3件	4件	3件	0件	-1件
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	13件	8件	16件	3件	8件
④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1件	5件	2件	1件	-3件
⑤ 金品をたかられる。	0件	0件	0件	0件	0件
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	1件	2件	1件	0件	-1件
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	3件	1件	4件	1件	3件
⑧ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	1件	2件	1件	0件	-1件
⑨ その他	1件	7件	2件	1件	-5件

平成29年度山形県公立高等学校入学者選抜の概要

1 日 程

- | | |
|----------------|---------------------------|
| (1) 推薦願書受付期間 | 平成29年1月23日(月)～1月27日(金) 正午 |
| (2) 推薦面接等実施日 | 平成29年2月7日(火) |
| (3) 連携面接等実施日 | 平成29年2月7日(火) |
| (4) 選抜内定結果連絡 | 平成29年2月13日(月) |
| (5) 一般願書受付期間 | 平成29年2月20日(月)～2月24日(金) 正午 |
| (6) 学力検査・面接実施日 | 平成29年3月10日(金) |
| (7) 適性検査実施日 | 平成29年3月11日(土) |
| (8) 合格発表 | 平成29年3月17日(金) |

2 実施学校数及び学科数

		29年度		28年度		増 減	
		校数	学科数	校数	学科数	校数	学科数
推薦 選抜	全日制	26	66	26	66	0	0
	定時制	0	0	0	0	0	0
一般 選抜	全日制	42	95	42	95	0	0
	定時制	5	5	5	5	0	0

3 推薦志願、推薦合格内定、一般志願状況

		入学 定員	推薦 募集 人員	推薦 志願 者数	推薦 志願 倍率	推薦 内定 者数	連携 内定 者数	一般 選抜 定員	一般 志願 者数	一般 志願 倍率
全 日 制	平成29年度	7,520	846	1,154	1.36	830	47	6,643	6,889	1.04
	平成28年度	7,640	864	1,077	1.25	780	46	6,814	6,885	1.01
	増 減	▲120	▲18	77	0.11	50	1	▲171	4	0.03
定 時 制	平成29年度	280	0	—	—	0	—	280	101	0.36
	平成28年度	280	0	—	—	0	—	280	116	0.41
	増 減	0	0	—	—	0	—	0	▲15	▲0.05

4 学科別一般選抜志願倍率

	普通	理数	音楽	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	総合
29年度	1.08	1.15	1.00	1.39	0.76	1.01	1.21	0.53	1.07	1.64	1.20	0.86
28年度	1.03	1.07	0.74	2.21	0.82	1.06	1.12	0.29	1.16	1.21	1.37	0.89
増減	0.05	0.08	0.26	▲0.82	▲0.06	▲0.05	0.09	0.24	▲0.09	0.43	▲0.17	▲0.03

登録有形文化財（建造物）の登録について

平成 29 年 3 月 10 日（金）に開催された文化審議会（所管 文部科学省）において、「登録有形文化財（建造物）の登録」について、文部科学大臣に答申がありましたのでお知らせします。

なお、答申のあった文化財は、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録し、官報で告示することにより効力が発生します。（文化財保護法第 57 条、第 58 条）

登録有形文化財

文化財を幅広く後世に継承していくため、国及び地方公共団体の文化財指定制度を補完する制度として、届出制と指導・助言を基本とする緩やかな保護措置を講じる。（原則として建築後 50 年を経過したもの）

- 1 登録の答申を受けた山形県内の登録有形文化財（建造物）
別紙のとおり

- 2 今回の答申件数等

(1) 山形県	2 件	[登録累計	174 件 (16 市町村)]
(2) 全 国	226 件	[同	11,263 件 (891 市町村)]

別紙

文化審議会（平成 29 年 3 月 10 日開催）において登録の答申を受けた山形県内の登録有形文化財（建造物）

名 称	所在地	建設年代	特 徴 等	種 別		基準
せ ばさぼうえんてい 瀬場砂防堰 堤	庄内町	昭和 28 (1953) 年	昭和 12 年より開始された山形県内初の国直轄砂防事業の一つとして最上川水系の立谷沢川に築かれた砂防堰堤（えんてい）。本堰堤は堤長 193 メートルで、副堰堤と水叩（たた）き二段を備え雄大な景観を創る。	土 木	治山治水	2
ろくぶちさぼうえんてい 六 渕砂防堰 堤		昭和 27 (1952) 年	立谷沢川本流にて最大の貯砂量をもつ堰堤で、堰堤前面に玉石を張り、上部に割石を亀甲積した帯を表し、見応えのある意匠とする。	土 木	治山治水	2

参考：基準＝登録有形文化財登録基準

- 1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 2 造形の規範となっているもの
- 3 再現することが容易でないもの

県内登録有形文化財（建造物）の登録件数（市町村別）

※平成 29 年 3 月 10 日答申分を含む

山形市	19
米沢市	17
鶴岡市	18
酒田市	3
新庄市	11
上山市	9
村山市	2
長井市	22
天童市	31
尾花沢市	5
南陽市	6
大蔵村	1
高畠町	4
川西町	10
庄内町	2
遊佐町	14
計	174

瀬場砂防堰堤



全体写真（下流より望む）



水叩き部（左岸より）

提供：国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所

六湊砂防堰堤



全体写真（下流より望む）



左岸天端部

提供：国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所

議第 1 号

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 55 条第 4 項の規定に基づく
意見に係る臨時専決処理の承認について

山形県議会 2 月定例会に提案された下記条例案の制定について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 55 条第 4 項の規定により山形県議会議長から意見を求められ、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則（昭和 31 年 11 月県教育委員会規則第 12 号）第 5 条第 1 項の規定により、別紙のとおり専決処理したことについて承認する。

記

山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提 案 理 由

山形県議会議長から上記条例の制定にあたり意見を求められ、急施を要したため、教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則第 5 条第 1 項の規定により専決処理したので、同条第 2 項の規定により承認を求めるため提案するものである。

平成 29 年 3 月 15 日提出

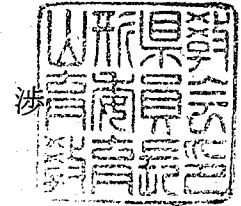
山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 涉

文 生 第 1522 号
平成 29 年 2 月 20 日

山形県議会議長 野川 政文 殿

山形県教育委員会
教育長 廣 瀬



意 見 聴 取 に つ い て

平成 29 年 2 月 17 日付け議調第 199 号で意見を求められた下記条例案の制定については、
適当なものと認めます。

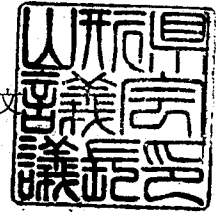
記

議第 53 号 山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 涉 殿

山形県議会議長 野 川 政 文



意見の聴取について

平成 2 9 年 2 月 定例会に知事から提出された下記条例案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 5 5 条第 4 項の規定により、2 月 2 0 日 (月) まで貴委員会の意見を求めます。

記

議第 5 3 号 山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(教育委員会の権限に属する事務に係る部分に限る)

議第 53 号

山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

山形県事務処理の特例に関する条例（平成 11 年 12 月県条例第 36 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条第 1 項の表第 14 項市町村の欄中「及び天童市（第 2 号）」を「、天童市及び庄内町（第 2 号、第 3 号）」に改め、同表第 15 項市町村の欄中「寒河江市」を「寒河江市、上山市」に、「及び川西町」を「、川西町及び庄内町」に改め、同表第 18 項事務の欄第 41 号中「第 136 条」を「第 136 条第 1 項」に改め、同表第 37 項事務の欄第 2 号中「公告」を「公告、インターネットの利用による公表」に改め、同表中第 41 項を第 42 項とし、第 38 項から第 40 項までを 1 項ずつ繰り下げ、第 37 項の次に次のように加える。

<p>38 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号。以下この項において「法」という。）、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令（平成 18 年政令第 10 号。以下この項において「政令」という。）及び法の施行のための規則に基づく事務のうち、次に掲げるもの（いずれも政令第 1 条の 2 第 3 号に規定する精神通院医療に係るものであり、かつ、政令第 29 条第 1 項に規定する基準に該当していること及び政令第 35 条に規定する負担上限月額算定の算定に関する事項に限る。）</p> <p>(1) 法第 53 条第 1 項の規定による申請に係る審査</p> <p>(2) 法第 56 条第 1 項の規定による申請に係る審査</p> <p>(3) 政令第 32 条第 1 項の規定による届出に係る審査</p>	<p>各市町村</p>
---	-------------

第 2 条第 2 項の表第 2 項事務の欄第 1 号中「ホまで」を「トまで」に改め、同号イ中「3 月」を「2 年」に、「、改築又は除却」を「又は改築」に改め、同号ロ中「、改修若しくは除却（改修又は除却）」を「若しくは改修（改修）」に改め、同号ハ中「、改修又は除却」を「又は改修」に改め、同号ニ中「埋設されている」を「電柱、」に、「又は下水道管の」を「、下水道管その他これらに類する工作物の設置又は」に改め、同号中トをリとし、同号ヘ中「飼育又は」を「飼育、」に、「装着」を「装着又は当該捕獲した動物の血液その他の組織の採取」に改め、同号中ヘをチとし、ホをへとし、への次に次のように加える。

ト 県指定史跡名勝天然記念物の保存のため必要な試験材料の採取

第 2 条第 2 項の表第 2 項事務の欄第 1 号ニの次に次のように加える。

ホ 建築物等の除却(建築又は設置の日から50年を経過していない建築物等に係るものに限る。)

附 則

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第2条第1項の表中第41項を第42項とし、第38項から第40項までを1項ずつ繰り下げる改正規定及び同表第37項の次に1項を加える改正規定は、同年7月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の日前に法令、条例若しくは規則の規定により知事若しくは教育委員会がした処分その他の行為のうちこの条例の施行の際現に効力を有するもの又はこの条例の施行の際現に法令、条例若しくは規則の規定により知事若しくは教育委員会に対してされている申請その他の行為で、同日以後において改正後の第2条第1項又は第2項の規定により市町村の長又は教育委員会が執行することとなる事務(同表第1項の表第14項に掲げるもの(庄内町の区域に係るものに限る。)、同表第15項に掲げるもの(上山市及び庄内町の区域に係るものに限る。))及び同条第2項の表第2項に掲げるものに限る。)に係るものは、同日以後においては、当該市町村の長若しくは教育委員会がした処分その他の行為又は当該市町村の長若しくは教育委員会に対してされた申請その他の行為とみなす。

提 案 理 由

条例による事務処理の特例として市町村が処理することとする事務の範囲を拡大するためその他規定の整備を図るため提案するものである。

山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案の概要について

1 改正理由

市町村へ権限移譲する事務の範囲の拡大

※県指定史跡名勝天然記念物については、軽微な現状変更に係る許可権限を市町村に移譲することとしており、この「軽微な現状変更」の考え方は国と県とで同一となっている。

今般、国指定史跡名勝天然記念物に係る権限移譲（＝軽微な現状変更）の範囲が拡大されたことから、これに準じて県指定史跡名勝天然記念物に係る権限移譲の範囲を拡大するもの。

2 改正内容

市町村へ権限移譲する事務の範囲の拡大（対象：全市町村）

県指定史跡名勝天然記念物の現状変更の許可に係る教育委員会の権限について、市町村へ移譲する範囲を拡大するもの。

【移譲する範囲を拡大する事務】

- ① 2年以内^(※)の期間を限って設置される小規模建築物の新設、増築又は改築
※ 現行：3月以内
- ② 電柱、電線、ガス管、水管、下水道管その他これらに類する工作物の設置又は改修^(※)
※ 現行：埋設されている電線、ガス管、水管又は下水道管の改修
- ③ 建築物^(※)その他の工作物（建築又は設置の日から50年を経過していないものに限る。）の除却
※ 現行：建築物の除却は、3月以内の期限を限って設置される小規模建築物に限る。

【新たに移譲する事務】

- ④ 史跡名勝天然記念物の保存のため必要な試験材料の採取
- ⑤ 捕獲した天然記念物に指定された動物の血液その他の組織の採取

3 施行日 平成29年4月1日

<参 考>

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）<抜粋>

（条例による事務処理の特例）

第 55 条 都道府県は、都道府県委員会の権限に属する事務の一部を、条例の定めるところにより、市町村が処理することとすることができる。この場合においては、当該市町村が処理することとされた事務は、当該市町村の教育委員会が管理し及び執行するものとする。

2～3 ー略ー

4 都道府県の議会は、第一項の条例の制定又は改廃の議決をする前に、当該都道府県委員会の意見を聴かなければならない。

○ 教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は専決させる規則（昭和 31 年 11 月県教育委員会規則第 12 号）<抜粋>

（臨時専決処理）

第 5 条 教育長は、第 2 条各号に掲げる事務（前条第 1 項各号に掲げるものを除く。）で緊急に処理することを要するものについて、非常災害その他緊急やむを得ない事情のため教育委員会の会議を開くいとまがないと認められるとき又は教育委員会の会議を開くことができないときは、専決処理することができる。

2 教育長は、前項の規定により専決した事務について、その旨を次の教育委員会の会議において報告し、その承認を求めなければならない。